

地球観測に関する政府間会合(GEO)閣僚級会合等 (GEO Week 2019)に向けた準備状況



令和元年5月29日

文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

<地球観測に関する政府間会合(GEO)>

GEOSSを推進するための国際的な枠組。
 ※GEO: Group on Earth Observations

閣僚級会合（地球観測サミット）

本会合（104か国+EC、128機関） 2019年5月現在

共同議長：先進国2か国、開発途上国2か国で構成
 (EC、南ア、米、中)

執行委員会（16か国・地域）

(中、豪、日、韓) (EC、独、伊、スイス) (アルメニア、露)
 (南ア、モロッコ、セネガル) (米、アルゼンチン、エクアドル)

プログラム委員会

- ・ワークプログラムの策定や実施状況の監視等を担う
- ・参加国・参加機関が推薦する専門家で構成

GEO 事務局

- ・世界気象機関内（ジュネーブ）
- ・主にGEO参加国からの拠出金により運営

閣僚級会合：

- ・2~4年に1回開催。文部科学省から政務レベルが出席。
- ・前回（2015年）は、SDGs、気候変動枠組条約、仙台防災枠組等への貢献について記載した「メキシコシティ宣言」を採択。
- ・次回は、2019年11月にオーストラリアにおいて開催予定。

本会合：

- ・毎年1回開催。
- ・2018年は京都で開催し、2019年の閣僚級会合における共同宣言文書につなげるため、SDGs、パリ協定、仙台防災枠組に焦点を当てた議論を実施。

執行委員会：

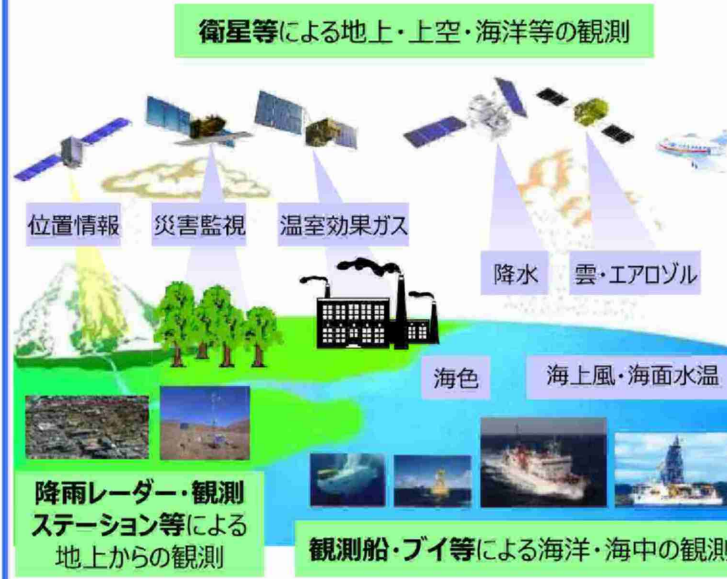
- ・年に3~4回開催。大臣官房審議官が対応。

<全球地球観測システム(GEOSS)>

衛星、海洋及び地上観測等の、複数の観測システムからなる包括的な地球観測のシステム。

※GEOSS: Global Earth Observation System of Systems

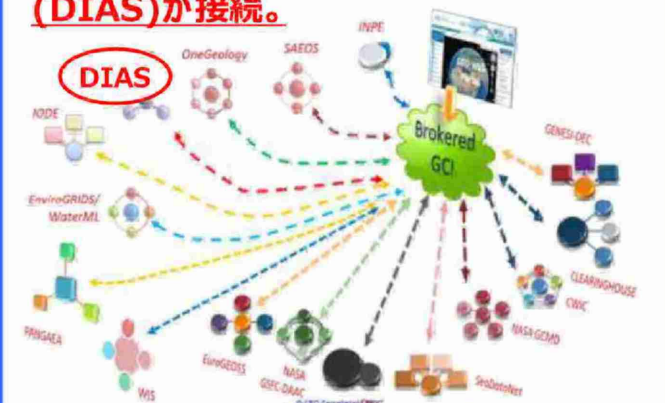
衛星・海洋・地上観測の実施



観測データ・情報の共有

GCI (GEOSS Common Infrastructure)として、世界各国の地球観測データをインターネットで検索できるシステムを構築。

我が国からは、データ統合・解析システム(DIAS)が接続。



※我が国は、気候変動、エネルギー、防災、生物多様性、農業等の分野で地球観測情報を利用する取組に参加。

<GEOの設立経緯>

G8イビアンサミット（2003年6月 於フランス）：

全球的な地球観測の重要性が確認されるとともに、小泉総理の提唱により、10年実施計画の策定を行う閣僚会合の東京開催(2004年)について合意。

第2回地球観測サミット（2004年4月 於東京）：

我が国からは小泉総理、河村文部科学大臣が出席。
 GEOSSの枠組文書を採択。

第3回地球観測サミット（2005年2月 於ベルギー）：

我が国からは小島文部科学副大臣が出席。
 「GEOSS10年実施計画」が採択されるとともに、GEOの設立を承認。

＜参考＞GEO設立まで

2003年7月	米国（ワシントンD.C.）	第1回地球観測サミット（出席者：渡海文部科学副大臣）
2004年4月	日本（東京）	第2回地球観測サミット（出席者：小泉総理、河村文部科学大臣）
2005年2月	ベルギー（ブリュッセル）	第3回地球観測サミット（出席者：小島文部科学副大臣）

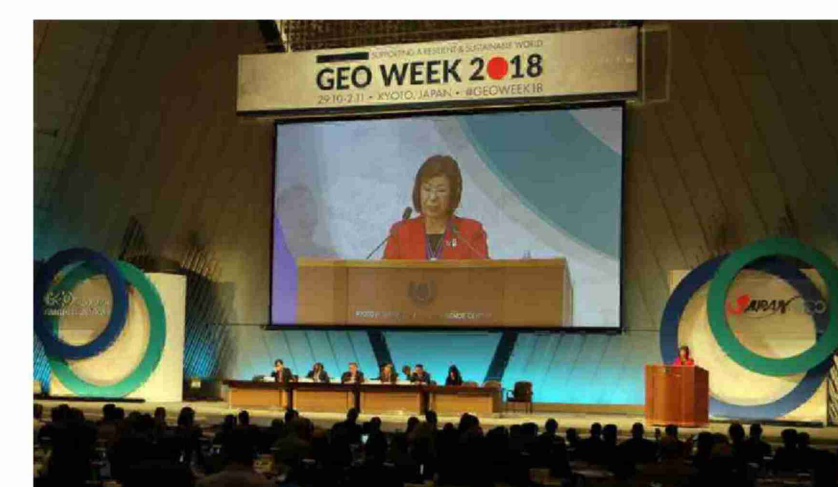
日程	場所	閣僚級会合	本会合
2005年5月	スイス（ジュネーブ）	-	第1回
2005年12月	スイス（ジュネーブ）	-	第2回
2006年11月	ドイツ（ボン）	-	第3回
2007年11月	南アフリカ（ケープタウン）	第4回地球観測サミット （出席者：渡海文部科学大臣）	第4回
2008年11月	ルーマニア（ブカレスト）	-	第5回
2009年11月	アメリカ（ワシントンD.C.）	-	第6回
2010年11月	中国（北京）	GEO閣僚級会合 （出席者：林文部科学大臣政務官）	第7回
2011年11月	トルコ（イスタンブール）	-	第8回
2012年11月	ブラジル（イグアス）	-	第9回
2014年1月	スイス（ジュネーブ）	GEO閣僚級会合 （出席者：櫻田文部科学副大臣）	第10回
2014年11月	スイス（ジュネーブ）	-	第11回
2015年11月	メキシコ（メキシコシティ）	GEO閣僚級会合 （出席者：富岡文部科学副大臣）	第12回
2016年11月	ロシア（サンクトペテルブルグ）	-	第13回
2017年10月	アメリカ（ワシントンD.C.）	-	第14回
2018年10月	日本（京都）	-	第15回
2019年11月	オーストラリア（キャンベラ）	GEO閣僚級会合	第16回



2015年の閣僚級会合(メキシコ)において政府代表演説を行う富岡副大臣



2018年の第15回本会合(京都)の集合写真



2018年の第15回本会合(京都)において主催国挨拶を行う永岡副大臣

<第15回GEO本会合の開催結果>

日 程： 2018年10月31日(水)～11月1日(木)

場 所： 国立京都国際会館（日本）

出 席 者： 約500名（参加国：約300名、参加機関：約100名、その他民間企業等）

開催国挨拶： 永岡桂子 文部科学副大臣、油井亀美也 JAXA宇宙飛行士グループ長

基 調 講 演： 水鳥真美 国連事務総長特別代表 兼 国連国際防災戦略事務局（UNISDR）代表

概 要： GEOが掲げる優先連携3分野（SDGs、パリ協定、仙台防災枠組）それぞれに関するパネルセッションや、商業セクターとの連携に関するセッション等を実施。2019年の閣僚級会合につながる有益な議論が行われた。



<GEO優先連携3分野に関するパネルセッション概要>

SDGsを支える地球観測：

- ・ GEOは、SDGsの達成を実効的に支援するため、地球観測データと統計データ、他の情報との密な連携を推進する。

パリ協定を支える地球観測：

- ・ GEOは、グローバルな取組を強化するために、気候変動枠組条約（UNFCCC）のプロセスへの関与を強化すべき。

仙台防災枠組を支える地球観測：

- ・ 地球観測データ及び地球観測情報は、「より良い復興」のために、より良い評価、検証、監視、予測を提供できる。



PARIS 2015
UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE
COP21-CMP11



<GEO Week 2019 開催概要>

日程： 11月4日(月)～5日(火) サイドイベント
 11月5日(火) 第49回執行委員会
 11月6日(水)～7日(木) 第16回本会合
 11月8日(金) 閣僚級会合
 11月9日(土) 第50回執行委員会

場所： 国立コンベンションセンター・キャンベラ（オーストラリア）

テーマ： **地球観測～デジタル経済への投資**（Earth observations: investments in the digital economy）
 ※ここでの「投資」は、財政支出だけでなく、アイデア、知見、データ等の投入も含む



<閣僚級会合の主な議題（調整中）>

- 地球観測データ・情報が、いかにして持続可能で包括的な世界経済成長をもたらさうかについての議論
 - ・ 行動喚起：GEOに対するニーズに関する議論
 - ・ 閣僚級による返答：各国の取組に関する声明発表
- 閣僚級宣言文の採択

※詳細は別紙1（GEO Week 2019ウェブサイトに掲載されている、4月18日時点のアジェンダ素案）参照

<第16回本会合の主な議題（調整中）>

- 優先連携3分野（SDGs、パリ協定、仙台防災枠組）に関するこれまでの実績を踏まえた、今後の活動の方向性の議論
- 世界、地域、地方レベルでの地球観測・GEOの貢献拡大に向けた検討
- ワークプログラム2020-2022の承認

※詳細は別紙2（GEO Week 2019ウェブサイトに掲載されている、4月18日時点のアジェンダ素案）参照